

西の湖でのアオコの発生について (第1号)

令和5年7月6日(木)11時25分頃、琵琶湖保全再生課の職員が近江八幡市浅小井町付近の西の湖で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

なお、今後の西の湖周辺でのアオコの発生状況は、県HP「今日の琵琶湖」において情報提供していく予定です。(滋賀県HPトップページ→Mother Lake 琵琶湖→今日の琵琶湖)

(<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(℃)	構成プランクトン (群体数/ml)
ポケットパーク横 (近江八幡市浅小井町) ※別図参照	7月6日 11時26分	5m× 1m	4	32.6	ミコキスティス属 4,000 アハバ属 23,000 アファゴメノ属 140 オシロリア属 1,400

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



今回確認されたアオコ

(写真が必要な場合は、JPG形式のデータで提供可能です)